

一期一会の風景

向井潤吉の民家紀行

「勾配の強い森陰の道を

登り切った狭い谷のはざまに

四、五軒が散在して、

物音一つしない静けさであった。

その家と家の中の細い径を

通り抜けたところに、こんな

隠れ家のような家があった」



向井潤吉（東郷の丘）【東京都青梅市栗平】1976年
※「」内の地名の表記は、制作時の記録等に基づきます。

2022 10.1 | 土 | — 3.12 | 日 | 2023
世田谷美術館分館
向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1 TEL.03-5450-9581
<http://www.mukaijunkichi-annex.jp/>

開館時間 | 10:00～18:00(最終入館は17:30まで) 休館日 | 毎週月曜日(ただし、祝・休日と重なった場合は開館、翌平日休館)、年末年始(12月29日～1月3日)。
10月10日(月・祝)、1月9日(月・祝)は開館、10月11日(火)、1月10日(火)は休館

観覧料 | 一般200円(160円)、大高生150円(120円)、65歳以上 / 中小生100円(80円) *障害者の方は100円(80円)、ただし小・中・高・大学生の障害者は無料。介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。証明書をご提示のうえ、お申し出ください。*()内は20名以上の団体料金 *世田谷区内在住・在学の小・中学生は土、日、祝・休日は無料

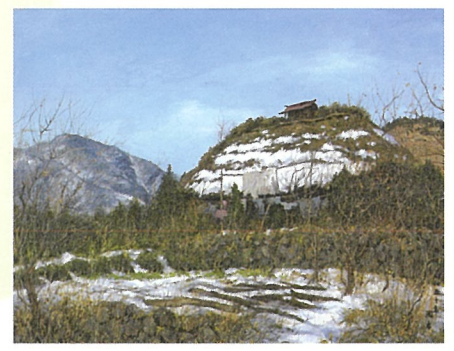
戦後40年にわたり、失われゆく伝統的な草屋根の民家を描きつづけた向井潤吉(1901-1995)。その旅は、一つひとつ、かけがえのない風景との出会いの積み重ねでした。車中から偶然に見つけ心惹かれて描いた風景や、ダム建設にともない湖底に沈むことになる民家など、本展では、その一期一会のエピソードとともに、向井が愛惜の念を込めて描いた日本各地の風景をご紹介します。



潤吉

「大釜から盛岡へ向かう車窓から発見して出直し、物色しつつこの場所についた。しかし生憎くと天気が悪く、岩手山は三合目あたりから上は雲に消されていた。翌年五十号を担いで再び現場に立ったが、構図が少し変なのできいてみると、右の一軒が一昨夜の落雷のためにすっかりと焼けたとかで、その残材が道に積まれていた。ふとした災難であった」

《六月の田園》
〔岩手県岩手郡滝沢村〕1971年



「朝のテレビで湖底になる村だと紹介されたので早速に出かけたら、すでに先客のカメラマンが活躍しているのが驚いた」

《山居立春》
〔神奈川県定柄上郡山北町世階〕1975年



「中央線の車中から眺めて、八ヶ岳を背にして枝もたわわの巨大な桜の花の塊をみてその神々しさに打たれた」

《ふもとの老樹》
〔山梨県北巨摩郡小淵沢町〕1990年

※出典 《ふもとの老樹》、《山居立春》…『米寿記念 向井潤吉展—郷愁への通旅—』図録 朝日新聞社、1990年 《爽緑の丘》、《六月の田園》…向井潤吉『日本の民家』保育社、1979年

世田谷美術館分館 向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1
TEL.03-5450-9581 <http://www.mukaijunkichi-annex.jp/>

“Instagram” アカウントを開設しました!

画家の暮らしの息遣いを今に伝える館内や、四季折々に豊かな表情を見せる庭など、向井館の日々の様子をご紹介しますほか、ミュージアムグッズなどの情報もお届けしています。



©宮本和範

- 【交通案内】
- 東急田園都市線「駒沢大学」駅西口より徒歩10分
 - 東急世田谷線「松陰神社前」駅より徒歩17分
 - 東急バス(渋05)渋谷駅～弦巻営業所「駒沢中学校」下車徒歩3分



世田谷美術館分館 宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13
TEL.03-5483-3836
<http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>
宮本三郎と「日本」
2022年10月1日(土)～2023年3月12日(日)



©宮本和範

世田谷美術館分館 清川泰次記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17
TEL.03-3416-1202
<http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>
清川泰次 色をめぐって
2022年10月1日(土)～2023年3月12日(日)



©宮本和範

世田谷美術館

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2
TEL.03-3415-6011(代表)
<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>
【展覧会のご案内】
TEL.050-5541-8600(ハローダイヤル)

同時開催展

企画展

ミュージアムコレクション

宮城壮太郎 — 使えるもの、美しいもの 9月17日(土)～11月13日(日)

祈り・藤原新也 11月26日(土)～2023年1月29日(日)

世田谷美術館コレクション選 わたしたちは生きています! セタビの森の動物たち 2023年2月18日(土)～4月9日(日)

ミュージアム コレクション II 荒井良二のアールぶると! 8月6日(土)～11月20日(日)

ミュージアム コレクション III それぞれのふたり 秋原朔美と榎本了亮 12月3日(土)～2023年4月9日(日)

※新型コロナウイルス感染症の感染予防および拡散抑制のため、ご入館に際し、マスクの着用と検温等のご協力をお願いしております。
※展覧会の会期および内容が、急遽変更や中止になる場合もございます。
※会期中の最新情報は美術館ウェブサイト等でお知らせします。